

第172期 報告書 2019年4月1日～2020年3月31日

MITSUI-SOKO GROUP BUSINESS REPORT

Financial Review

物流から価値を

三井倉庫グループ

2020年3月期 フィナンシャル・レビュー

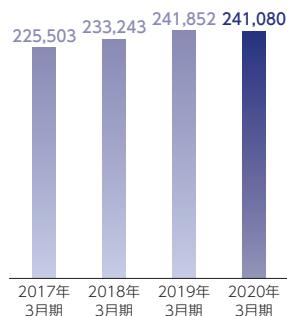
- ▶ 堅調な貨物取扱と「中期経営計画2017」でこれまで重点的に取り組んできた「抜本的事業収益力の強化」に関する各種施策が奏功し、厳しい外部環境のもとでもほぼ前期並みの利益を確保
- ▶ 株主還元については、各種施策が計画通りに進捗し、反転が完了したことから、2020年3月期の期末配当を12.5円増配し、半期配当25円を実施

営業収益

2,410億80百万円

前期比7億72百万円 ▼

(単位：百万円)



営業利益

118億8百万円

前期比1億78百万円 ▼

(単位：百万円)

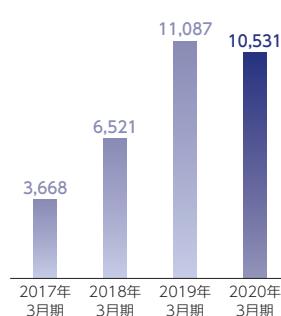


経常利益

105億31百万円

前期比5億56百万円 ▼

(単位：百万円)

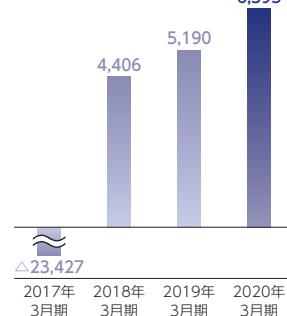


親会社株主に帰属する 当期純利益(当期純損失は△)

63億95百万円

前期比12億4百万円 ▲

(単位：百万円)



(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(注2) この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされていますが、その見通しはリスクや不確実性に左右され、実際の結果と大きく異なることも考えられます。

読者の皆様には、これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いします。

Top Interview

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが世界に蔓延し、物流の分野にも少なからぬ影響が生じている状況ではありますが、これからもグループの総力を結集し、「One三井倉庫」としてお客様のサプライチェーンの見直しをしっかりとご支援できるよう努めてまいります。

代表取締役社長

古賀博文



/ Q /

2020年3月期の業績についてお聞かせください。

/ A /

この1年を振り返ると、昨年夏以降の大型台風等の自然災害の発生や、海外経済の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況が継続しておりましたが、当社の事業活動においては、期初より堅調に推移しておりました。

この第4四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外において一部の取扱物量が想定を下回りましたが、「中期経営計画2017」で定めた抜本的事業収益力の強化に関する各種施策の実施や、国内の物流事業における堅調な貨物取扱、不動産事業における賃料収入の増加などにより、当社グループの連結業績につきましては、1ページの「2020年3月期 フィナンシャル・レビュー」のとおり、営業収益は2,410億80百万円、営業利益は118億8百万円、経常利益は105億31百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は63億95百万円となり、厳しい外部環境のもとでもほぼ前期並みの利益を確保いたしました。

このように、2020年3月期は、三井倉庫グループの「中期経営計画2017」の“反転”の最終年度として、次のステップである持続的成長期へ繋がる礎ができたと考えております。

Q 2021年3月期の見通しについてお聞かせください。



A 2021年3月期の業績見通しにつきましては、下図の2021年3月期連結の「業績予想」のとおり、営業収益2,200億円、営業利益85億円、経常利益79億円、親会社株主に帰属する当期純利益48億円としております。

この業績見通しに関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響による荷動きの低迷が2020年9月末までは継続し、以降収束に向かうという前提の下で作成されております。当該予想は国内外における外出自粛要請、ロックダウン等の新型コロナウイルス感染症対策の動向、同感染症の拡大あるいは収束の動向等、様々な要因により変動いたします。

これらの要因により業績予想を変更する必要がある場合は、速やかに業績予想の修正に係る開示をいたします。

業績予想 (2021年3月期連結)

営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2,200億00 百万円 前期比 -210億80百万円 ▼	85億00 百万円 前期比 -33億08百万円 ▼	79億00 百万円 前期比 -26億31百万円 ▼	48億00 百万円 前期比 -15億95百万円 ▼

Q 株主配当の予定と今後の経営課題についてはどのようになりますか。

A 次のとおり、それぞれお答えいたします。

●株主配当について

各種施策が計画通りに進捗し、反転が完了したことから、2020年3月期の期末配当を12.5円増配し、半期配当25円を実施しました。今後も中長期的な利益水準と財務内容を勘案しながら、年間配当50円を下限とした安定的配当の継続を目標とさせていただきます。

詳細はP4の上段の図「配当の推移」をご参照ください。

配当の推移

※2018年10月1日付の株式会社併合(5株→1株)を反映

	実績										予定	
	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株あたり配当額(円)*	25.00	25.00	25.00	—	—	—	—	12.50	12.50	25.00	25.00	25.00

●今後の経営課題について

当社を取り巻く事業環境は刻一刻と変化しております。人手不足や原価の上昇は継続し、昨今の新型コロナウイルスの影響により、これまで調達や製造を特定地域に集中してきた企業群は、今後グローバルサプライチェーンの変更・見直しを迫られると考えられます。そして、サステナビリティに対する社会の意識も日々高まっております。

このような環境下において当社が持続的に成長し「真のファーストコールカンパニー」になるためには、プラスαの価値を市場にご提供していく必要があります。「中期経営計画2017」の後半2年間で、下図の通り、①圧倒的な現場力の構築、②一気通貫の統合ソリューションサービスの構築、③ESG経営の3つの施策を経営課題とし、重点的に取り組んでまいります。

持続的成長期”3つの施策”の概要



Group Outline

三井倉庫グループを形成する企業群と事業別実績

物流事業会社	■ 三井倉庫 倉庫保管 港湾運送 海外における物流サービス 倉庫・運送・アウトソーシング業務・コンテナターミナルオペレーション	物流事業 営業収益 2,319億82百万円 (前期比 14億21百万円減) 営業利益 91億5百万円 (前期比 7億39百万円減)
	■ 三井倉庫エクスプレス 航空貨物・複合一貫輸送 自動車部品を中心とした航空貨物輸送および海上複合一貫輸送サービスの提供	営業収益の推移 (百万円) 2019.3: 233,404 2020.3: 231,982
	■ 三井倉庫ロジスティクス サードパーティロジスティクス(3PL) 家電製品を中心とした物流センターの運営・配送	営業利益の推移 (百万円) 2019.3: 9,844 2020.3: 9,105
	■ 三井倉庫サプライチェーンソリューション SCM*支援 生産工程プロセスまで視野に入れたサプライチェーンの構築 ※Supply Chain Management	
持株会社	■ 三井倉庫トランスポート 陸上貨物運送 トラック運送機能を中心とした物流ネットワークサービスの提供	不動産事業 営業収益 98億33百万円 (前期比 6億63百万円増) 営業利益 58億65百万円 (前期比 7億50百万円増)
	■ 三井倉庫ホールディングス 持株会社・不動産事業 グループ全体の経営戦略策定・管理と所有不動産の賃貸・運営・管理	営業収益の推移 (百万円) 2019.3: 9,170 2020.3: 9,833
		営業利益の推移 (百万円) 2019.3: 5,114 2020.3: 5,865

(注1) 営業収益はセグメント間の内部収益または振替高を含み、営業利益は管理部門に係る費用の調整前の金額としております。
 ※組織情報、および本事業別数値は2019年4月1日から2020年3月31日までの事業別実績となります。
 (注2) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Our Worldwide Network

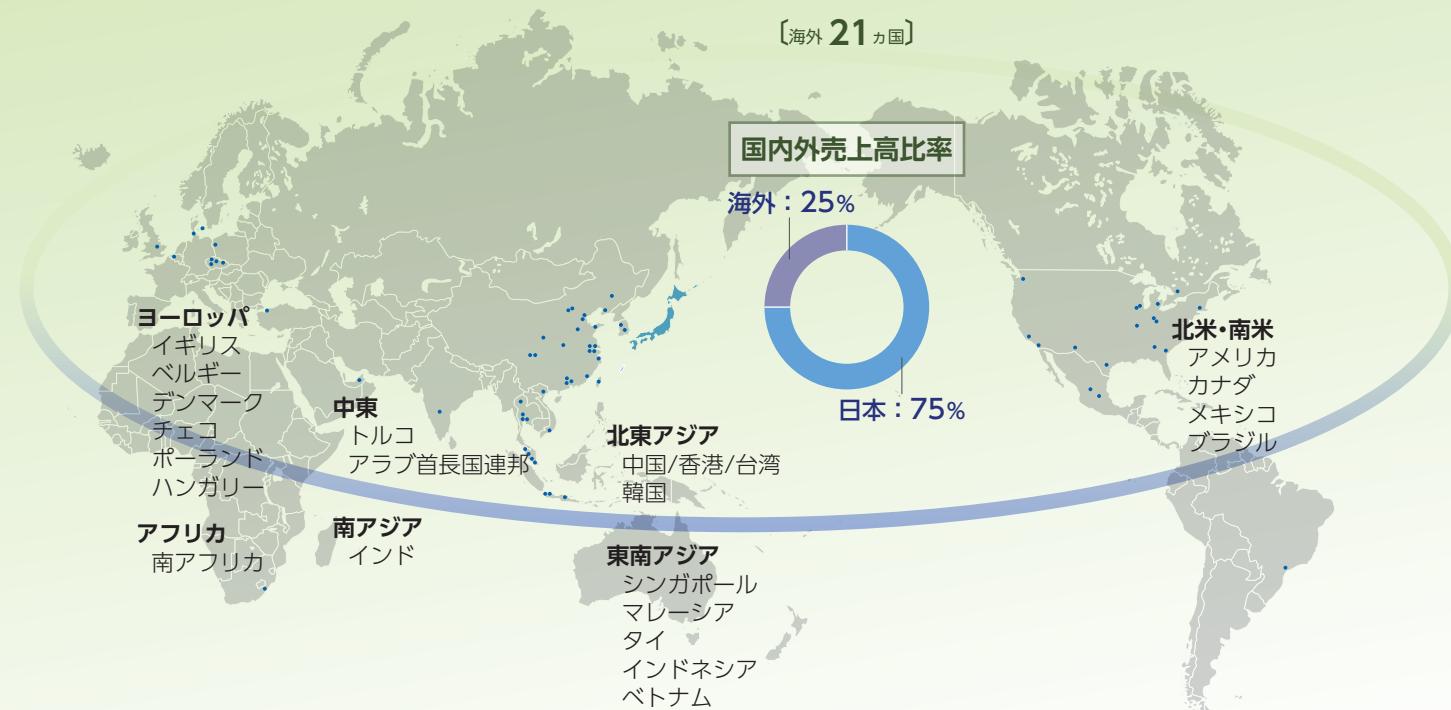
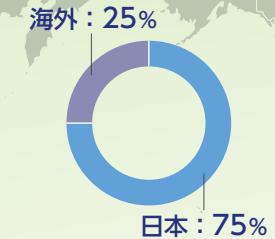
三井倉庫グループ拠点

● = 海外における主要活動拠点都市

国内外拠点数

約**400**カ所
 [海外 **21**カ国]

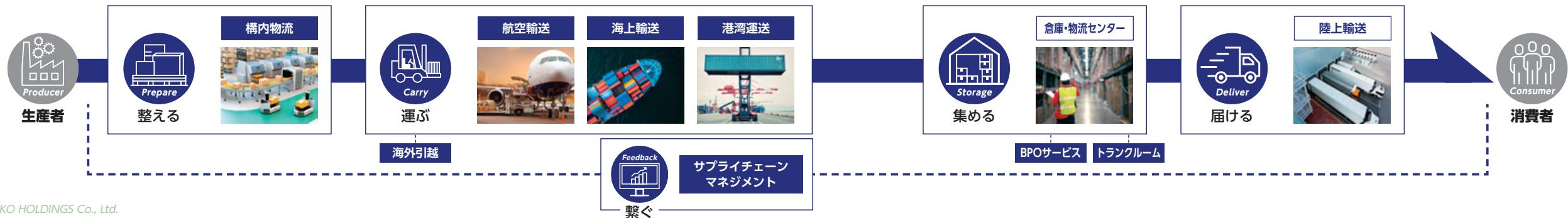
国内外売上高比率



※6ページの数値については2020年3月31日現在の情報になります。

ONE MITSUI-SOKO Solution

生産者から消費者へと繋ぐ、三井倉庫グループの主な機能



Our ESG

三井倉庫グループのマテリアリティと事業活動について

当社グループ経営における課題として、マテリアリティ（重要課題）を特定しました。
ESG（環境・社会・ガバナンス）経営の下、国連「持続可能な開発目標（SDGs）」等と連動し、常にサステナビリティを意識しながら事業活動を推進してまいります。

TOPICS 持続的成長に向けた取組み

社会とともに持続的に成長するための三井倉庫グループのマテリアリティ

最重要課題

「物流」という重要な社会インフラを支える企業として「新たな価値を創出」する

1 協創を通じた持続可能で強靱な物流サービスの提供



Economy

2 安全・多様性・働きがいのある労働環境の実現



Social

3 積極的な環境負荷低減による低炭素社会・循環型社会への貢献



Environment

提供価値



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



17 持続可能な開発のためのパートナーシップを強化しよう



8 働きがい、経済成長を促進しよう

社会および顧客企業の経済生産性の向上



8 働きがい、経済成長を促進しよう



5 性別平等を推進しよう



3 健康と福祉を確保しよう

従業員およびその家族の Quality of Life



13 気候変動に具体的な対策を



12 持続可能な消費と生産を実現しよう



7 持続可能なエネルギーを確保しよう

社会および顧客企業のバリューチェーンの環境負荷低減

国内初、環境型物流施設建設にグリーンボンドを活用

2020年3月、ヘルスケア事業専用物流施設「関東 P & MセンターII(仮称)」の建設費用(2021年6月新設予定)の調達を目的に、グリーンボンド(※1)を発行しました。なお、今回当社が発行したグリーンボンドの評価については、株式会社日本格付研究所(JCR)より、「JCRグリーンボンド評価」
として最上位評価である「Green1」を付与されており、物流会社(※2)が環境負荷低減に配慮した物流施設の建設資金としてグリーンボンドを発行するのは国内初の事例となります。

社債の名称	三井倉庫ホールディングス株式会社 (第18回無担保社債 グリーンボンド)
別称	三井倉庫ホールディングス グリーンボンド
発行総額	50億円
償還期日	2030年3月8日(10年債)
資金使途	子会社が建設する「関東P & MセンターII(仮称)」の建設費用(CASBEE 認証ランク+B(良い)またはランクA(大変良い)を取得予定)の転貸資金



※1.グリーンボンドとは、調達資金の使途を環境改善効果のある事業に限定して発行する債券となります。

※2) 物流会社については、TOPIXの33業種区分のうち「倉庫・運輸」「陸運業」「空運業」「海運業」を「物流会社」と定義しております。

中央防波堤外側外貿コンテナふ頭 Y2コンテナターミナル進出

2020年4月に東京港Y2コンテナターミナル(東京都大田区令和島)が開業しました。Y2コンテナターミナルは、三井倉庫株式会社および同業3社にて共同運営しております。東京港は、コンテナ取扱量の増加に伴い混雑が深刻化しており、コンテナ船大型化への対応や災害時の物流機能維持が課題となっております。

規模とスペックにおいて東京港随一の高規格ターミナルである「Y2」は、効率的なオペレーションを通じて東京港周辺道路の渋滞緩和や船舶の滞在時間の短縮を可能にし、「CO₂排出量減少による環境負荷の低減」に寄与することが期待されております。



東京港Y2コンテナターミナル(点線内)

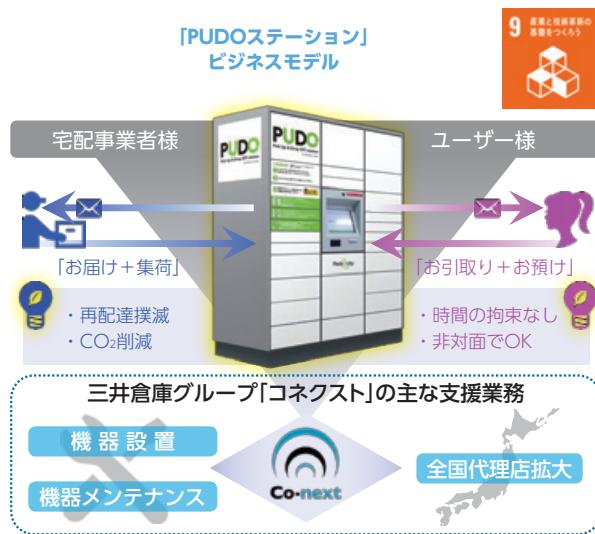


シャトルブーム式ガントリークレーン



強靱な現場力に基づく持続可能な輸送サービスの提供

近年、Eコマースの普及により宅配便の取り扱いが増加するなか、再配達はドライバー不足やCO₂排出量の増加を深刻化させる要因となっています。三井倉庫グループの株式会社コネクストは、Packcity Japan株式会社様と連携し、オープン型宅配便ロッカーPUDOステーションの設置・メンテナンス業務を通じて、社会課題となっている宅配便の再配達削減に貢献しています。PUDOステーションは、駅、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストアや公共施設など、全国に約5,500台(2020年5月現在)設置されており、「誰でも・いつでも利用できること」をコンセプトに、荷主様とお客様をつないでいます。



環境配慮型素材を用いた当社受付スペースをリニューアル

受付前のディスプレイの改装に伴い、東京多摩地区で産出されるエシカルな地産地消「多摩産材」を用いた環境配慮型スペースとして、2020年3月末にリニューアルしました。

また、当社グループ企業情報(歴史・サービス・ニュース)をデジタルサイネージで発信することで、来訪者様とのコミュニケーションスペースとして活用しております。

愛称: 三井倉庫グループ「インフォメーション スクエア」



「多摩産材」認証マーク



多摩産材を活用することにより、多摩地区の森林保護に貢献しております。



Information

株主様アンケートのご報告

2019年12月に発行しました中間期ビジネスレポートにおいて、インターネットを用いた株主様アンケートを実施しました。ご回答いただき誠にありがとうございました。また、ご要望や激励のお言葉などをいただき、スタッフ一同にとって大きな励みとなりました。皆様から頂戴した貴重なご意見を、今後の事業活動やレポートの作成に活かしてまいります。今後ともご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

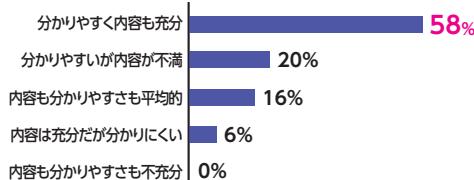
Q 株式投資の経験年数

株式投資を始めて、どのくらいになりますか。



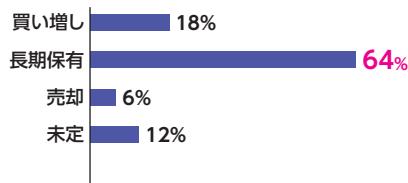
Q 本誌「ビジネスレポート」のわかりやすさ

掲載内容についてどう思われますか。



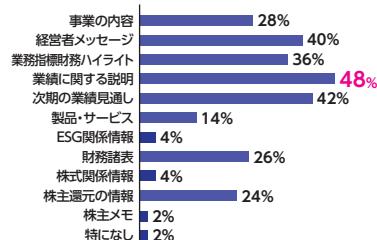
Q 当社の株式の運用方針

当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。

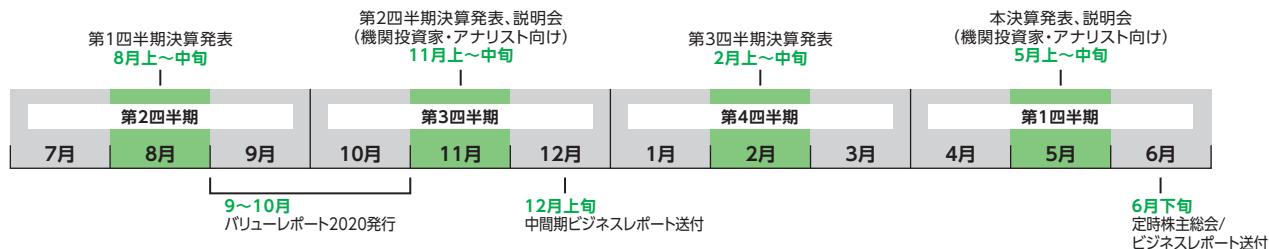


Q 本誌から得たい情報 (複数回答可)

どの掲載内容を中心にご覧になりましたか。



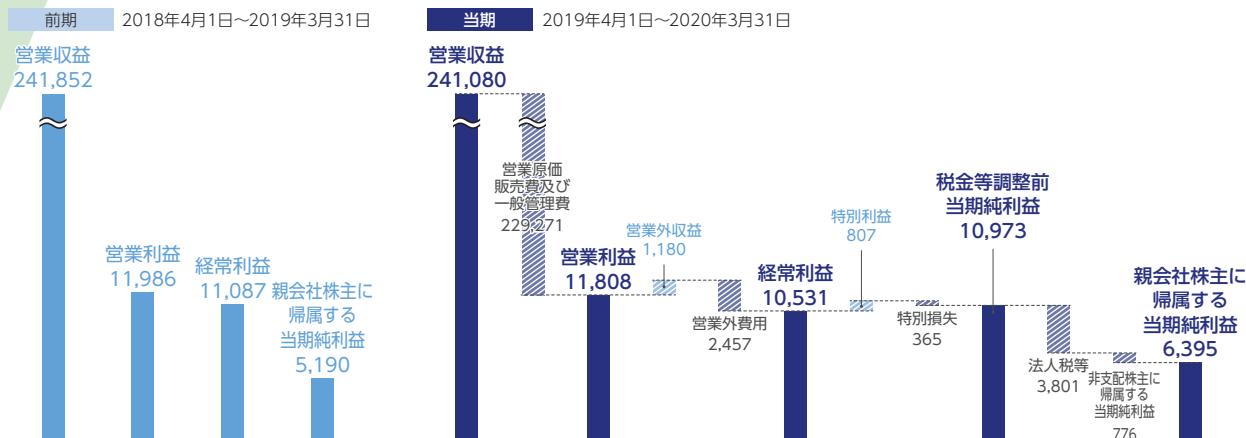
IRカレンダー (今後の予定)



Financial Statements

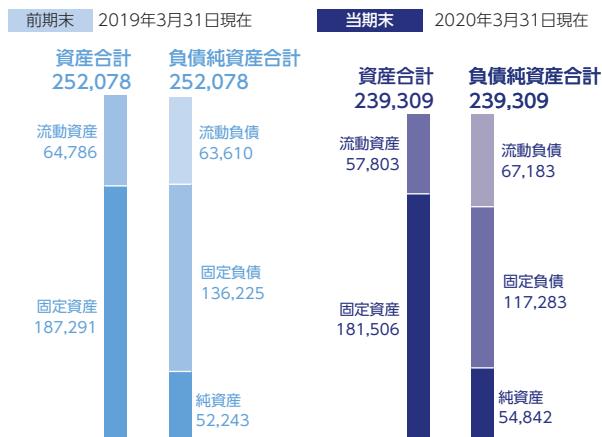
■ 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



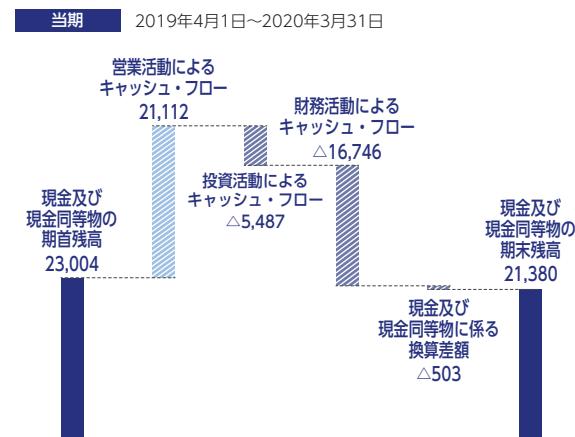
■ 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

より詳しい財務情報は当社HPをご覧ください

<https://msh.mitsui-soko.com/ir/results>



■ 御参考データ (5年間の推移)

営業利益 (百万円) /
営業収益営業利益率 (%)



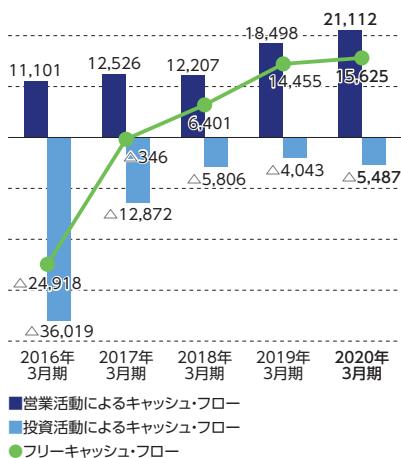
親会社株主に帰属する当期純利益 (損失) (百万円) /
ROE (%)



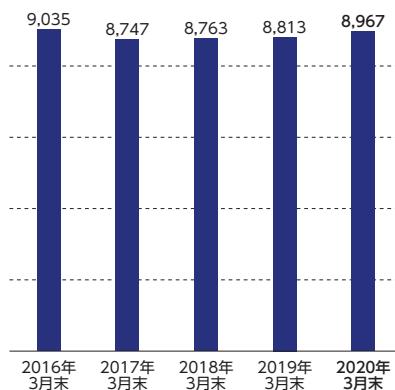
有利子負債残高 (百万円) /
ネットD/Eレシオ (倍)



営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円) /
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円) /
フリーキャッシュ・フロー (百万円)



連結従業員数 (名)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Corporate Overview

2020年開催各社定時株主総会以降の三井倉庫グループ経営体制

三井倉庫ホールディングス株式会社

取締役会長	田原口 誠	社外取締役	平井 孝志
代表取締役社長	古賀 博文	社外取締役	菊地 麻緒子
代表取締役専務取締役	中山 信夫	常任常勤監査役	笹尾 新一郎
常務取締役	小川 良司	常勤監査役	宮下 紀夫
取締役上級執行役員	郷原 健	社外監査役	須藤 修
取締役上級執行役員	石田 幸男	社外監査役	小澤 元秀
社外取締役	中野 泰三郎		

三井倉庫株式会社

取締役会長	田原口 誠
代表取締役社長	木納 裕
常務取締役	若野 英樹
取締役上級執行役員	田中 英介
取締役上級執行役員	金井 重樹
取締役	中山 信夫
取締役	郷原 健
監査役	笹尾 新一郎

三井倉庫エクスプレス株式会社

代表取締役会長	古賀 博文
代表取締役社長	久保 高伸
常務取締役	廣 展成
常務取締役	和田 慶二
取締役	荒牧 功
監査役	石田 幸男
監査役	朝倉 正司

三井倉庫ロジスティクス株式会社

代表取締役社長執行役員	鳥井 宏
取締役執行役員	伊勢谷 元彦
取締役執行役員	石川 輝雄
取締役	小川 良司
取締役	石田 幸男
監査役	宮下 紀夫

三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社

代表取締役社長	関取 高行
取締役	中山 信夫
取締役	郷原 健
取締役	千野 浩毅
取締役	橋本 圭一
監査役	宮下 紀夫

三井倉庫トランスポート株式会社

代表取締役社長	増田 孝義
取締役副社長	小川 良司
常務取締役	古根川 太志
常務取締役	渡部 智
取締役	渡部 尚
監査役	中山 信夫

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	三井倉庫ホールディングス株式会社
設立	明治42年(1909年)10月11日
本社	東京都港区西新橋三丁目20番1号
資本金	11,100,714,274円
従業員	808名/単体(含む出向者660名) 8,967名/連結
グループ国内拠点	東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡 他
グループ海外拠点	アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル、イギリス、 ベルギー、デンマーク、チェコ、ポーランド、 ハンガリー、トルコ、アラブ首長国連邦、 シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア、 ベトナム、インド、南アフリカ、香港、中国、台湾、韓国
グループの事業内容	物流事業 不動産事業

三井倉庫グループ会社 (2020年3月31日現在)

連結子会社 86社(国内37社、海外49社)

事業会社

- 三井倉庫(株)
- 三井倉庫エクスプレス(株)
- 三井倉庫ロジスティクス(株)
- 三井倉庫サプライチェーンソリューション(株)
- 三井倉庫トランスポート(株)

その他主な連結子会社

- 三井倉庫九州(株)
- 三井倉庫ビジネスパートナーズ(株)
- 三井倉庫港運(株)
- MITEX LOGISTICS (SHANGHAI) CO., LTD.
- MITSUI-SOKO (U.S.A.) INC.
- MSE China (Guangzhou) Co., Ltd.
- 北海三井倉庫ロジスティクス(株)
- ロジスティクスオペレーションサービス(株)
- 丸協運輸(株)
- 三井倉庫ビズポート(株)

他

持分法適用関連会社 8社

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式の総数……………24,883,002株(中間期末比 増減なし)

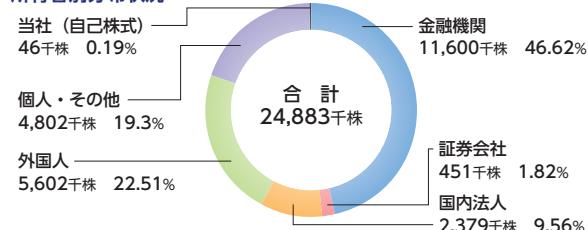
株主数……………6,486名(中間期末比-271名)

大株主(上位10名)

株主名	所在地	所有株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京	2,320	9.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京	1,573	6.33
大樹生命保険株式会社	東京	1,569	6.32
三井住友海上火災保険株式会社	東京	1,401	5.64
株式会社三井住友銀行	東京	696	2.81
三井倉庫グループ従業員持株会	東京	543	2.19
株式会社竹中工務店	大阪	496	2.00
GOVERNMENT OF NORWAY	外国	477	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	東京	445	1.79
三井住友信託銀行株式会社	東京	437	1.76

(注)千株未満の株式数は切り捨てて表示しております。出資比率は小数点2位以下を四捨五入、自己株式(46,628株)を控除して算出しております。

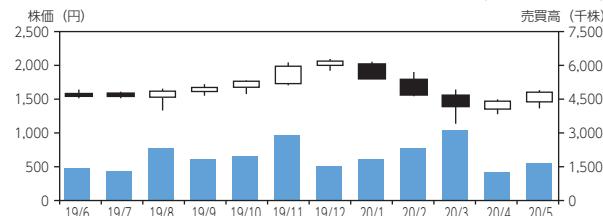
所有者別分布状況



(注)千株未満の株式数は切り捨て、また、株式数比率は小数点2位以下を四捨五入して表示しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)

(証券コード: 9302)



株主メモ

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	毎年6月下旬開催
■ 同総会における議決権行使株主	基準日現在 1 単元(100株)以上を有する株主
■ 単元株式数	100株
■ 基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
■ 公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 <input type="text" value="三井倉庫 電子公告"/> <input type="button" value="検索"/> https://msh.mitsui-soko.com/ir/stock/notice

■ 証券コード	9302
■ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■ 郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
■ 電話照会先 (通話料無料)	 0120-782-031 (平日 9:00~17:00/土・日・祝・12/31~1/3:休)
■ ホームページ	<input type="text" value="三井住友信託 証券代行"/> <input type="button" value="検索"/> https://www.smtb.jp/personal/agency/

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設された株主様は、三井住友信託銀行株式会社(上に記載の「郵便物送付先、電話照会先」)にお申出ください。

■ 未払配当金の支払のお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社(上に記載の「郵便物送付先、電話照会先」)にお申出ください。

表紙デザインについて

内側の円は「ONE MITSUI-SOKO」を、周辺のカラフルな渦状の円は、多種・多様な当社グループの物流事業と持続的成長をイメージしております。当社グループの各種広報パンフレットの表紙についても同様のデザインを施しております。



※本冊子の印刷は、FSC® 認証を取得した用紙と、VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの植物油インクを使用しています。また、本誌書体には読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

三井倉庫ホールディングス株式会社
<https://msh.mitsui-soko.com/>
 〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目20番1号
 TEL.03-6400-8000 (代表)